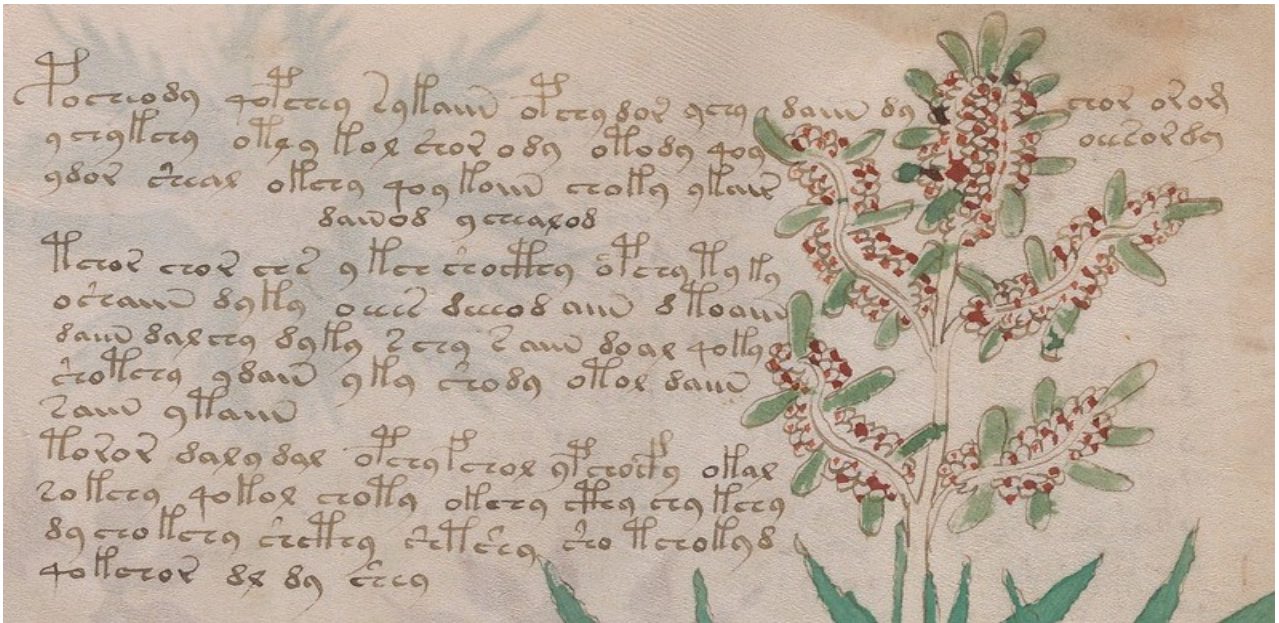


単語の区切りが大変難しい書き方の文章です。



pdaatdasb nadapaatb kbqand dapaab sdar baab sand sb aadar dardazi
ブダアアトダ国は多くない国で、維持され小さかったが、多くの決まった農地で
纏まった人の国土と国だった。幾らかの農地は農地(造り)が仕事だった。

baabqaab dafbb qdaum badar dasb dafdasb nadab dattkdarsb
まともりは古いだけで、争う古い家の、バダラダ国、ダフダ国には人々が居なく、
ダツクダラ国であった。

bsdar bataum daqaab nadab qdand aadaqb bqair
決定した農地には多くの希望があり、自立心で、小さく無く古くて悪く幾らか支配された
が、後の場所となった。

saiddas baataumdas
長老の出入りは纏められた希望の出入りであった。

faadar aadar aak bqaab badafab dapaab fbqb
良い農地は所有農地だが、大船は古い広い人に従った。多くは新しく成長した。

dabaand sbqb datttk stttidas and sfdaand
押されてはいるが国土の地域は決まっ多方向で、集まった争いが止まった。
集まった良いものは少なかったが。

sand saumaab sbqb k aab k and sdaaum nadaqb
国土は指導者が全てで、国土の地域は後が全て、後ではあるが集まった小さな希望で、
支配が無くなった。

badafaab bsaid bqb badasb dafdaum sand
長期になるにつれ決まった援助で成長し、バアダ国は豊かな家の国土になった。

kand bfang
しかし人が支えだった。

fdardar saumb saum dapaab gaadaum bpaadagab daqaum
良い農地が次々とでき跡継ぎの指導者も沢山になった。
浜辺の家は交易が遠い人で自立希望だった。

kdaqaab nadaqdaum aadafb daqaab fab aab qaab
後に自立心は、不自立家では幾らかの支配となり、独立心は遠い人には全て少かった。

sb aadaqaab bafab bafbab bada faadaqbs
国は幾らか自立的になり始めた。前向きの領土は、長期の支配に従って集まった。

nadaqaadar sum sb batb
自立心の無い農地は集まって国に変化した。